

# 和光市総合振興計画審議会第1回会議（安全部会） 会議要旨

開催日：平成27年4月24日（金） 午後2時00分～5時00分

開催場所：和光市役所議事堂3階全員協議会室

出席者：金子正義部会長、柴崎幸夫委員、松田廣行委員、長野基委員、藤川和孝委員

欠席者：富岡健治委員、泉常夫委員、佐藤嘉晃委員

事務局：川辺課長、前島課長補佐、工藤主査、遠藤主事

傍聴者：0名

次第：1 開会

2 議事

(1) 施策内容修正シートに関する審議

- 施策5-1 コミュニティ施設の整備
- 施策5-2 鉄道・バスの利便性の向上
- 施策5-3 消費者保護の充実と消費者力の強化
- 施策5-4 誰もが気軽に相談できる窓口の推進
- 施策5-6 湧水・緑地の保全と再生
- 施策5-7 水環境の保全
- 施策5-8 生活環境保全の推進
- 施策5-9 ごみ減量・リサイクルの推進
- 施策6-0 廃棄物の適正処理の推進
- 施策6-1 市の特色を生かした地域ブランドの推進
- 施策6-2 中小企業の育成支援
- 施策6-3 魅力ある新たな産業の推進
- 施策6-4 都市農業の推進と担い手の育成
- 施策6-5 就労支援対策の推進
- 施策7-5 電子市役所の推進
- 施策7-6 情報公開制度の利用の推進
- 施策7-7 公聴活動の推進

(2) その他

3 その他

次回開催の日程

4 閉会

## 1 開会

政策課長挨拶

## 2 議事

### (1) 施策内容修正シートに関する審議

#### 施策5 1 コミュニティ施設の整備

[施策名]、[7. 施策指標]

藤川委員： 施策名は「コミュニティ施設の整備」と掲げているが、施策指標が年間利用者数にまとめられている。施設の整備と利用者数は関係があるだろうが、施設の利用者数はそこで行われる企画や活動によっても利用者数は大きく変わる。バリアフリー化や駐車場の整備など施設のハード部分についても指標として定めるべきではないか。

金子部会長： 藤川委員の意見のとおり指標で整備や修繕に触れていない。設備の活用については書かれているのに、施設の整備については指標がないため違和感がある。施策名と指標が異なっている。

長野委員： タイトルと目的がずれている。意図に合わせて体系を組み替える必要があるのではないか。

[部会の意見]

施策名と目的がずれており、また、その内容についても目的・現状・課題・取組内容・指標がバラバラであり、何を目的としているのか分からない。したがって、施策の意図するところに合わせて組み替える必要がある。施策名を「コミュニティ施設の整備及び活用」に変更し、「施設の整備」の経過を測定できる指標を設定する。また、その活用については、地区ごとに目標を設定する。

[3-2. 平成27年度の現状]

柴崎委員： コミュニティ施設の配置が特に東側に偏っている。

藤川委員： 方針では地域センター9地区9館構想とされているが、あと何館整備する予定なのか分からない。

[部会の意見]

今後の整備予定や現在の詳しい状況を追加する。

#### 施策5 2 鉄道・バスの利便性の向上

[3-2. 平成27年度の現状]

金子部会長： 「利用者が増加し更なる利便性の向上」の部分について、3. 現状の「起伏

の多い・・・利用されています」のように理由を加えるなど詳しく書いた方が  
良い。

[5. 課題解決の考え方と取組]

金子部会長： ターミナル機能の強化の解決に向けた取組について、「③バスターミナルの設  
置“についての”検討」とするなど、もう少し丁寧な表現でお願いしたい。

[部会の意見]

修正箇所について、理由を加えるなど詳しく表現する。

### 施策53 消費者保護の充実と消費者力の強化

[6. 取組内容]

長野委員： 事前に相談内容の分析について質問したが、意図と違う回答であった。市に  
どんな相談が寄せられて、それについてどのように対応しているのかを伺いた  
かった。

金子部会長： 指標を相談内容に応じて細分化する必要があるのではないかと。

長野委員： 指標ではなく、市がどの程度トリアージを行い、事業を進めているのかにつ  
いて疑問に感じた。ただし、基本構想ではなくその下に位置する事務事業での  
課題となる。

[部会の意見]

意見なしで可決。

### 施策54 誰もが気軽に相談できる窓口の推進

[7. 施策指標]

事務局： 【欠席の泉委員の意見】目標値を実態に合わせるとあるが、今後窓口のオー  
プン化を進めていけば当初の目標値が妥当で修正の必要はない。

藤川委員： 課題にも記載されているとおり、相談窓口を知らない市民が多い。広く知っ  
てもらえれば、件数は増える。

金子部会長： 昨年の審議会の意見にもあったが、1階に総合窓口を作ればPRにもなるの  
ではないか。

長野委員： 総合コンシェルジュとなると、それなりの能力が必要になる。

金子部会長： 職員のOBであれば担うことができるのではないかと。

松田委員： 高齢者が「市から言われた」と相談結果を鵜呑みにするケースもある。相談  
者に合わせてより丁寧な対応をしてほしい。

[部会の意見]

目標値の修正は必要ない。

## 施策56 湧水・緑地の保全と再生

[3-2. 平成27年度の現状]、[4. 課題]

藤川委員： 「湧水や緑地などの自然環境の保全意識の向上や継承する次世代の人材」の意味が分かりにくい。自然環境の保全意識の向上に関する話と、継承する次世代の人材に関する話がどうつながっているのか。若い世代に保全意識が育っていないというのであれば、そう書いたほうがいい。

長野委員： 市民緑地が区画整理事業によって減ったのであれば、それに対する課題を記載する必要がある。

金子部会長： 「区画整理事業」と言い切ってしまうといいのか、疑問である。「区画整理事業」については、「土地の開発により」とするなど、検討が必要。

[部会の意見]

平成27年度の現状について、「区画整理事業」の表現を見直す。課題の前半の文について、「保全活動を継承する若い世代の人材が育っていない」とするなど分かりやすい表現にする。平成27年度の現状に対応する課題を追加する。

[6. 取組内容]

藤川委員： 主要課題にある「保全と再生の実現」だが、“再生”の話が出てこない。緑のカーテンなどは再生というにはスケールが小さい。失われた緑地の再生を示す取組内容がない。

松田委員： 新倉午王山の会では里山の再生に取り組んでいる。

[部会の意見]

取組内容に再生に関する内容を追加する。

## 施策57 水環境の保全

[施策名]

藤川委員： 「水環境の保全」という施策名がよく分からない。様々な取組があり、整理できていないように見える。例えば、取組内容③には「雨水の有効利用と地下浸透の促進」とあるが、目的と手段が並列になってしまっている。

金子部会長： 総合治水とは河川による洪水の総合調整に関するもので、一般的には雨水の循環については考えられていない。また、本施策では雨水の利用についても触れており、地下浸透についても出てきているため、全体的に取扱いを見直すか、施策名を見直す必要がある。

[部会の意見]

施策名を内容に合わせ、「水に関する施策の推進」か「水に関する保全」に変更する。

[ 7. 施策指標]

長 野 委 員： 雨水小型貯水槽設置数については、事務事業レベルでの指標となるため、「水環境の保全」という施策の効果を測定する指標としては適していない。

[部会の意見]

「市内3河川のBOD値」のみとし、「雨水小型貯水槽設置数」は事務事業評価表の指標とする。

**施策58 生活環境保全の推進**

[部会の意見]

意見なしで可決。

**施策59 ごみ減量・リサイクルの推進**

[ 7. 施策指標]

長 野 委 員： 廃棄物のリユースのデータが無い。取組内容に掲げているのであれば、その努力が分かるようなデータを施策指標に入れるのが良いのではないか。

[部会の意見]

施策指標にリユースに関するデータを追加する。

**施策60 廃棄物の適正処理の推進**

[ 6. 取組内容②]

松 田 委 員： 焼却施設の今後に対する検討は進んでいるのか。

長 野 委 員： 事前質問に対する回答にもあるとおり、資金の担保がなされていない。取組内容②に記載して計画的に取り組む必要がある。

[部会の意見]

焼却施設の機種を選定とその焼却施設の整備のための計画を立てる。

金子部会長： 取組内容②の最後の文章については「・・・その結果に基づき、市民の意見を参考に施設整備を進めていきます」と修正してほしい。

[部会の意見]

最後の文章について、「・・・その結果に基づき、市民の意見を参考に施設整備を進めていきます」と修正する。

**施策61 市の特色を生かした地域ブランドの推進**

[ 7. 施策指標]

長 野 委 員： 事前質問で指摘し、回答をいただいたとおり、「ブランド力」（他者との競争上の優位性）を測定する指標を検討してほしい。

[部会の意見]

「ブランド力」(他者との競争上の優位性)を測定する指標を追加する。

## 施策62 中小企業の育成支援

[7. 施策指標]

金子部会長： 製造品出荷額や卸売・小売業年間商品販売額を目標値にしても、和光市の施策によって値が上下するというものではない。景気や政府の財政対策などによって左右される。和光市が直接協力して出荷額が増えるならいいがそういう訳でもないため、指標として不適切ではないか。

[部会の意見]

製造品出荷額と卸売小売業年間商品販売額を削除する。

## 施策63 魅力ある新たな産業の推進

[7. 施策指標]

事務局： 【欠席の泉委員の意見】施策指標に新規企業の誘致及び転入数を加えるべき。工場等利子補給補助金の制度ができるのであれば、それに関する指標も必要なのでは。

金子部会長： 施策指標でインキュベーションしか掲げていない。「魅力ある新たな産業の推進」という施策名なのでインキュベーション以外の新規産業を他の地区から誘致する可能性もある。市ができる範囲は少なく大変だとは思いますが、新規産業の件数というのも挙げる必要があるのではないか。

藤川委員： 泉委員の意見に賛成です。施策の新しい柱として工場等移転利子補給補助金がある。補助制度を作るからには目標を立てて努力していくべきではないか。1件か2件という小さな目標になるだろうが、しっかりと目標を定めるべき。

[部会の意見]

新規企業の誘致件数及び転入数、補助金利用数を追加する。

## 施策64 都市農業の推進と担い手の育成

[6. 取組内容③]

金子部会長： 新しく追記された「農業者、農業者団体と協力して」の部分は本当に必要か。前のままでも良かったのではないか。そもそも農業関係者と協力しないとできないのではないか。

事務局： 市だけが参加しているのではないという意味で追記したと思われる。

柴崎委員： 市には農家と市民の間の調整役を担ってもらっている。市が間に入ることによって、都市農業に対する理解が深まる。

[部会の意見]

「農業者と農業者団体と協力し」の部分を削除する。

**施策65 就労支援対策の推進**

[4. 課題]

金子部会長： 「…一部に厳しさが見られるものの着実に改善が進んでいる状況です。このため、…」の部分に違和感を感じる。正しい日本語になるように表現の修正をお願いしたい。

[部会の意見]

文章を見直す。

[3-2. 現状]

長野委員： 女性の就業率が低いため、その解決をしなければならないとあるが、それに対する取組がどこに該当するのかが分からない。

金子部会長： 50%とか60%とかで少ないというのなら理解できるが、94、95%という就職率の中で女性の就業率が低いと書いてあるのがなぜだか分からない。

事務局： 就職を希望する人の中で就業している人の割合だと思われる。就業を希望していない専業主婦などは含まれていない。したがって、現状には就業率についての説明が必要かもしれない。

[部会の意見]

就業率についての説明を追加する。

**施策75 電子市役所の推進**

長野委員： この施策を策定した当時は、電子申請件数を見ることに意味があったと思うが、5年経過した今、これまで窓口で行っていた業務の何%が電子化しているのか相対的に見る時期になってきているのではないかと。

[部会の意見]

「電子申請件数」を「電子申請化した割合」に変更する。

**施策76 情報公開制度の利用の推進**

[7. 施策指標]

藤川委員： 事前質問で「情報公開請求件数も施策指標になるのではないかと」と質問したが「請求せずとも知りたい情報が得られる環境が望ましい。請求件数は少ないほうが良い」という回答であった。施策名で「情報公開制度の“利用の推進”」と掲げている以上、目標を設定すべきではないかと。

[部会の意見]

情報公開請求件数を指標とする。

### 施策77 広聴活動の推進

[6. 取組内容③]

[部会の意見]

「行政苦情等調停委員会」を「行政苦情等調整委員会」に修正する。

## (2) その他

ア 事前質問回答後の委員会からの意見について

長野委員： 事前質問の回答で、今後もその回答について是非進めていただきたいという場合、どう提言していけばいいのか。

金子部会長： 部会の中で出てきた参考意見も事務局に受け取ってもらえるとありがたい。

事務局： 指摘事項が多い中で、そういったご意見をいただけると担当課の今後の取組の参考になる。よろしくお願いします。

イ 3-2. 平成27年度の現状について

長野委員： 度々空欄のものがあるのはなぜか。

事務局： 10年計画の見直しにおいて、変更のないものは記載していない。

長野委員： どこかにその説明を追記してほしい。

事務局： 冊子として構成する際に、読み方のページに説明を記載します。

ウ 3. 現状について

長野委員： 施策内容修正シートを市のホームページ等で見た人に誤解を与えないように、いつの時点での現状であるのか、フォーマットの中で示すべき。

事務局： 会議資料を公表する際に見直します。

## 3 その他

次回開催の日程

開催日：平成27年5月29日（金） 午後2時00分より

開催場所：和光市役所4階研修室

## 4 閉会